

説 教

「メモリアル・ワーシップ」 北浜チャーチ  
黒田 禎一郎

2022年9月11日（日）

主 題：「希望に生きる人生の秘訣」

テキスト：ヨハネ福音書11章17～27節

**はじめに**

・お早う ございます！

- ・ 愛する皆さん！ 私たちの人生は一度しかありません。大変、貴重です。私たちは精一杯生きていますでしょうか。 貴重な人生、どう生きていますでしょうか。人生で悔いがない、いや、生き甲斐ある人生を過ごすならば、それは何と幸いではありませんか。
- ・ ところで、人生においては、どうしても「避けられないこと」、「悲しい、辛い出来事」があります。今日の聖書テキストを御覧ください。
- ・ イエスは、エルサレム郊外ベタニヤという村に行かれました。そこではラザロが亡くなり、墓に葬られて4日もたっていました。そこにマルタとマリヤという姉妹がいました。マルタはイエスに向かって、こう言いました。  
**11:21** 主よ。もしここにいてくださったなら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに。そして更に、こう言いました。  
**11:22** 今でも私は知っています。あなたが神にお求めになることは何でも、神はあなたにお与えになります。
- ・ するとイエスは言われました。  
**11:23** あなたの兄弟はよみがえります」  
そして更に言われました。  
**11:25** わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。  
**11:26** また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。このことを信じますか。
- ・ これは大変不思議な言葉です。今日、私たちは人生を3点から考えてみたいと思います。

**大切なポイント****1. 人生には避けられないことがある**

- ・ 人生では辛いことが多々ありますが、もっとも辛いことは⇒「死」ではないでしょうか。とくに家族・肉親の「死」は、つらく悲しいものです。  
⇒「死」は別れを意味するからです。  
もう戻ることはできません。だれも、そしてどう努力しても「死」を止めることの出来る人はいません。
- ・ ですから、多数の人びとが「死」に対して不安を持っています。

なぜ、不安なのでしょうが・・・？

①死後の世界が不明、保証がない、暗やみであるからだ。

②罪責感があるからです。

人には良心が有ります。人の心は罪に対して痛みを覚えます。

人はその責任を取らねばなりません。

**聖書：人は種を蒔けば、その刈り取りもすることになります。**

**ガラテヤ 6：7**

- 私たちは、その避けられない「死」をどう受けとめているのでしょうか。聖書は天地を造られた創造神がいることを、教えています。人は神によって造られた存在です。しかし、多くの場合。私たちは創造神について聞かされていません。教えられていないのです。

「例 話」

- **世界各地、どの国に行っても信仰心を持たない民はいません。**  
人は心の寄りどころ、精神の安定を求めています。共通していることは、  
⇒**信仰心を持たない民はいません。**

**聖書：神はまた、人の心に永遠の思いを与えられた。**

**伝道者の書 3:11**

- 聖書は、神が天地を創造された、と教えています。真の神を知ることは、大切です。その神は、私たちが人生で避けられない事態の時でも、存在されるお方です。

\* 私たちの人生は、どんなものなのでしょうか？

## 2. 必要な時に、助け手がない

- 今日のテキストで、マルタこう言いました。

**17:21 「主よ。もしここにいてくださったなら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに。」**

**17:22 「今でも私は知っています。あなたが神にお求めになることは何でも、神はあなたにお与えになります。」**

- マルタは、イエスに信頼を寄せていました。逆に言えば、信頼していただけ、失望も大きかったでしょう。イエスがおられたら、兄弟ラザロは死ななかつたのに、と思いました。
- 人は失望することがあります。光が見えなくなることがあります。マルタにとって、一番必要な時に、イエスはおられませんでした。

⇒しかし、そこに神のご計画がありました。

私たちは、マルタのような経験はないのでしょうか・・・？

**聖書：彼（神）を信頼する者は、失望させられることはない。**

**ローマ 9:33**

\* 私たちの人生は、どんなものなのでしょうか？

聖書は光があると教えています。

### 3. 人生には希望がある

- 皆さん。マリアとマルタは2つの失望を味わいました。
  - ①避けられない「死」という悲しみ
  - ②必要な時に、「助け手」がいなかった
- あるいは今日、あなたも人生の悲しみと失望を覚えておられるかも知れません。そして人生は「むなしい！」と考えておられるかも知れません。イエス・キリストは悲しみの渦中に会った2人に、言われました。

11:25 「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」

- 皆さん。なんと力強いことばではありませんか。このことばは、真実でしょうか。

{例 話} 奈良幸子姉の「証し」

- 私の生涯の中で、忘れることができない一人の方がいます。それはしばらく前のことですが、北海道小樽市で伝道旅行中に、病床の一人のクリスチャン女性を訪ねた時のことでした。
- 彼女に初対面の私は驚きました。若い美しい女性の指が、数本を除いて切断されていたからでした。そして彼女は私に、自分が書いたという1冊の「詩集」をプレゼントしてくれました。それがこの「詩集」(表紙も裏も真っ黒、中にはイラストもない)です。私は、真っ黒の「詩集」を重い気持ちとなり、とても読むことは出来ませんでした……。しばらくして、
- 彼女から、後日1通の手書きの手紙を受け取りました。次のように書かれていました。

私の今の病気「全身性エリトマトーデス」(systemic lupus erythematosus)の症状の中で、「レイノー症状」(動脈の痙攣によって、欠陥が閉塞して手足が壊死(necrosis)となり、ついには切断手術とでなる。現代医学では、有効な治療法はない)

- 今回の「レイノー症状」は過去になかったほど激しく、異常な倦怠感と湧いてくる発汗の中で、私は『壊死と指の切断手術』があることを覚悟しました。そして、主に向かい「主よ。私は切断の覚悟はできています。すべてを、あなたのみ心のままになさって下さい。」
- 私はすっかり紫色になった両手を合わせて祈りました。祈りへの応答は、それから間もなくきました。そうです。私は言葉では到底言い表すことができない「至福の平安」を与えられたのです。心は静まり、やがて喜びとなりました。そして眠りにつくまで、私は知るうるかぎりの讃美を歌い続けました。
- 彼女は手紙の中で、こう言いました。  
「病床という苦しみの中にあっても、喜びと感謝の心で、賛美できるのはクリスチャンだけではないだろうか」彼女は手足の指切断手術を前にして、このようなことを経験しました。それは天の御国に入る希望があるからです。(手紙はつづく)

聖書：

11:25 「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、

## 死んでも生きるのです。」

- ・ 皆さん！ 希望に生きる人生こそ、神が私たちにお与えくださるものです。このことばは十字架にかかり、命をお捨てくださったイエス・キリストのことばです。イエスは、ラザロをよみがえらされただけではありません。キリストは、ご自身死を打ち破り、復活されました。
- ・ ですから、このことばは死を打ち破られたお方、イエス・キリストのおことばです。イエス・キリストは救い主です。イエス・キリストは権威を持ちます。そして、更に幸いなことは「死んでも生きる」という希望をお与えくださいました。
- ・ いかがでしょうか。あなたも、この希望を持って生きられませんか？ それは、イエス・キリストを信じる（信頼し）時に実現します。

### ま と め

主 題：「希望に生きる人生の秘訣」

- ・ イエスは、死人ラザロをおことばで生き返えらされた方、真の権威があるお方です。
- ・ 神を知らない人生、それはある意味で、死んだ人のようです。なぜなら、神を知らないし、神との交わりもないからです。しかし、神はそんな者をも生き返らせることができます。
- ・ イエスはどんなお方でしょうか。
  1. イエスは真の助け主である（救い主）
  2. イエスはことばで生き返らせるお方である（権威）
  3. イエスは「死んでも生きる」と約束を与えてくださるお方（希望）

\* God bless you!